

事後評価調書

I 事業概要														
事業名	農業農村整備事業（一般農道整備事業）													
地区名	伊古部地区													
事業箇所	豊橋市													
事業のあらまし	<p>本地区は、豊橋市の南部に位置し、キャベツ等を中心とする畑作地帯であり、地区内のほ場は、県営農地開発事業により、30a区画（用排完備）に整備され、生産性の高い農業が展開されている。しかしながら、地区内の農道は未だ砂利道のため、農作物搬出時の荷傷みによる品質低下が問題となっていた。</p> <p>このため、地区内の農道を舗装することにより、農作物搬出時の荷傷みの防止や走行速度向上による輸送の効率化を図ることを目的とし、平成16年度から一般農道整備事業を実地し、平成20年度に完了した。</p>													
事業目標	<p>【達成（主要）目標】</p> <p>農道を舗装することにより、商品価値の高い良質な農産物を安定的に供給し、農業経営の安定化を図る。</p> <p>【副次目標】</p> <p>なし</p>													
事業費	事業費		内訳											
	247百万円		■工事費200百万円、□用補費 百万円、■その他47百万円											
事業期間	採択年度	平成16年度	着工年度	平成16年度	完成年度	平成20年度								
事業内容	農道（舗装工） L=10,326m													
II 評価														
①事業目標の達成状況	1) 主要目標の達成状況	<p>【達成状況】</p> <p>事業実施後、地区内では安定的な農業生産が行われている。砂利道の農道が舗装され、運搬時の荷痛みの防止、農産物の輸送効率が向上することで、商品価値の高い良質な農産物が安定的に供給されている。</p> <p>地元農家や農道管理者からは、「農道が舗装されて、野菜の荷傷みが減り、運搬時間も短くなった」と地区内の農家から事業の効果を実感している声が上がっている。</p> <p>本地区の主要作物であるキャベツは、作付面積、産出額ともに愛知県が全国一で、特に冬から春にかけて県内をはじめ全国の消費地に出荷されており、そのうち田原市と豊橋市で県内の大半をしめている。</p>												
		<p>主要作物の作付面積</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>実施前(H15)</th> <th>計画</th> <th>現在(H25)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>キャベツ</td> <td>21ha</td> <td>21ha</td> <td>43ha</td> </tr> </tbody> </table>					区分	実施前(H15)	計画	現在(H25)	キャベツ	21ha	21ha	43ha
	区分	実施前(H15)	計画	現在(H25)										
	キャベツ	21ha	21ha	43ha										
	<p>農道の走行速度（支線道路）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>実施前(H15)</th> <th>計画</th> <th>現在(H21～H24)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>15km/h</td> <td>40km/h</td> <td>40km/h</td> </tr> </tbody> </table>					実施前(H15)	計画	現在(H21～H24)	15km/h	40km/h	40km/h			
実施前(H15)	計画	現在(H21～H24)												
15km/h	40km/h	40km/h												
	現在の走行速度は、農家からの聞き取り													

		<p>【達成状況に対する評価】</p> <p>本事業により、農産物の輸送効率が向上し、良質な農産物が安定的に供給され、事業目標は達成できたと考えられる。</p>
	2) 副次目標の達成状況	<p>【達成状況】</p> <p>なし</p> <p>【達成状況に対する評価】</p> <p>なし</p>
Ⅲ 対応方針		
今後の事後評価の必要性		主要目標が概ね計画通り達成されているため、今後の事後評価は不要と考える。
改善措置の必要性		主要目標が概ね計画通り達成されているため、改善措置は不要と考える。
同種事業に反映すべき事項		標準的な事業計画、工法で施工しているため、同種事業に反映すべき事項はないと考える。